

肝疾患連携拠点病院の役割

割

(1) 肝疾患連携拠点病院とは

肝疾患診療の向上及び均てん化を図るため、2007 年 4 月 19 日に、厚生労働省健康局長通知「肝疾患診療体制の整備について」が発出、それにより、肝疾患診療連携拠点病院が各都道府県に原則 1 か所設置されることになりました。2026 年 4 月現在、47 都道府県に 72 の拠点病院が指定され、それぞれに肝疾患・相談支援センターが設置されています。

拠点病院では、都道府県の中で肝疾患の診療ネットワークの中心的な役割を果たす医療機関であり、肝炎を中心とする肝疾患に関する以下の活動をしています。

秋田県では、当院と市立秋田総合病院の 2 施設が拠点病院となっています。

(2) 拠点病院の主な役割

- 肝炎医療に関する情報の提供
- 都道府県内の専門医療機関等に関する情報の収集や提供
- 医療従事者を対象とした研修や情報提供の実施
- 肝炎患者やその家族、地域住民等に対する講演会の開催や相談等による支援
- 専門医療機関等との協議の実施

併せて、都道府県、肝炎情報センター、医師会等と協力した上で、地域の肝炎対策を担うものとして、専門医療機関やかかりつけ医との連携などを行うとともに、肝疾患相談支援センターを設置して、肝炎患者等への支援を行っています。

(3) 肝疾患相談支援センター

拠点病院は、肝炎医療の均てん化(地域によってかたよりのないよう、等しく向上させること)のために設置されています。医療の連携を図るほか、患者・患者家族・医療機関等からの、肝臓の病気・医療制度に関するご相談窓口として「肝疾患相談・支援センター」を設置しています。

医師、看護師、ソーシャルワーカー、肝炎医療コーディネーター等が様々な相談に対応しています。

秋田大学では、飯島教授がセンター長として私、佐藤亘が実務責任者として主に対応しています。拠点病院として、肝臓新聞の作成やコ年度は対面での肝臓病教室「秋田肝臓大学」を再開することとしました。また、患者さんやその家族、一般の方からも電話で気軽に肝臓に関する悩み、知識、治療の相談をできる環境を整えております。

もし、お困りの際は、電話でも結構ですし、外来の患者さんは気軽に消化器内科受付に相談がありますとお話してみてください。

7 月 31 日に、一階、院内図書館「ひだまり」で肝臓病教室を行います、入退室の自由ですので気軽に参加いただければ幸いです。

(文責 佐藤 亘)

秋田大学医学部附属病院  
肝疾患相談センター  
TEL 018-884-6297